

福田寺だより

発行

神奈川県小田原市飯田岡二五七

飯田山 福田 寺

住職 橋本尚信

古都・京都に王朝絵巻展展開

東寺創建千一百年記念

今年、平成七年は真言宗総本山教王護国寺（東寺）が創建されて一千二百年に当たります。これを記念して総本山東寺並びに東寺真言宗では十一月八日より二十一日までの二週間にわたり、東寺創建一千二百年慶讃大法会を修行致しました。先ず法要では、全部で十座（十日）厳修し特に開白（初日）と中日は、舞楽付庭儀大曼荼羅供が、王朝絵巻を彷彿とさせる華やかさで修行されました。又、十年ぶりに結縁灌頂が灌頂院で

五日間行われ二千人の人が仏様と縁を結びました。イベントは観世清和の薪能や、辻村ジュサブローの人形舞と宮下富美夫のジョイント、北野徹の打楽器コンサート、喜多嶋修と声明のジョイントなど多彩にくりひろげられました。展示物の特筆するものとしては、勅使川原宏展や今井正之陶芸展がありました。この間、全国各地から檀信徒の方々が団参を組んで、本山への参詣をなされました。

この大法会については、平成元年より七年間にわたって、準備・計画してきたもので、記念事業としてはこの間に重要文化財の修復等、次々と行ってきました。主なものとして慶賀門、北大門の修復、東寺鎮守八幡社殿の再建、防災対策の再修理、北総門、蓮花門、勅使門、毘沙門堂の修復等があります。その他に記念出版物や、声明のCD版の発刊等まで含めますと大変な事業であったことが思い偲ばれます。

さて、二週間の法要は天候にも恵まれ何のトラブルもなく結願（最終日）を迎えることが出来ました。私もこの間、本山につめつきりでしたし、準備段階の時も時々寺（福田寺）を空けてしまいました。檀信徒の皆様のご協力により、なんとか大役を果たすことができました。本当に有り難うございました。

福田寺団参・秋の十都満喫

* * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *

東寺創建一千二百年慶讃大法会に当たり、福田寺の本山団体参拝団が十一月十三日、十五日の二泊三日で行われました。総勢三十九名のバス旅行で京都・石山・湖東三山と紅葉の古寺巡拝の旅でしたが、どのお寺でも温かく迎えていただき、とても良い旅であったようです。住職は本山東寺に詰めつきりでしたので同行できず、寺族が添乗しての実施でしたが、皆さん楽しく和やかに過ごすことができたようです。

京都・嵯峨大覚寺では、学監が住職の高野山時代の同窓生で、親切にもてなしていただき、東寺では、夜ライトアップされた諸堂参拝までさせていただき、石山寺では、副住職自ら説明をしていただくなど、菩提

寺主催ならではの貴重な巡り合いの旅が体験できたとのことで、ほんとうにあり難く思っています。

個人旅行が持て囃され、団体旅行というのと、一步引き下がる風潮のなかで、団参は団参として意義あるものを感じさせられた旅でも有りまして、又、今後も機会あれば、実施して行きたいと思えます。

いわん経を註疏む△△

— 仏教のことば —

出世・普請・玄関・安心・我慢

挨拶・旦那・投機

こんな言葉も仏教から来たんだ

と、おどろきの連続です。まだ

まだ続きます。是非どうぞ。

お大師さまのことば

嫉妬(しつと)の心は他者と自己の対立から生ずる。

他者と自己の対立を離れるならば、(自己)は全く一つであることを知る。全く一つであることを知れば平等であり得る。

平等であり得れば、嫉妬を離れる。嫉妬を離れるならば、一切衆生の善に喜びしたがう。

喜びにしたがえば、すべてのものを誇(そし)ることがない。誇ることがなければ、信じ受ける。信じ受ければ、これを実行に移す。

毎月十五日

夜七時半より一時間

テキスト

東寺真言宗在家勤行法則

(寺にあります。)

参加費用 一人百円

次回 一月十五日

新年厄除け薬師護摩供養

申し込み受付中

一月八日午後一時より修行

真言密教には、病気を主に他のあ

らゆる苦しみから逃れる手段として
薬師如来を奉り、一切の苦難の原因
を取り除く護摩供養が、千数百年の
間連綿と受け継がれています。

人間の心底からの願い、悩み、苦
しみを、真正面から受け止めてくだ
さる仏様、それが薬師如来さまであ
ります。現実を肯定する密教にあっ
て、自分をさらけだしておすがりで
きる仏様です。

福田寺の本尊は、この薬師如来さ
まで、古来よりその靈験は近在に知
られております。新年恒例の薬師護
摩供養会を下記の要領で修行いたし
ますので、護摩ご希望の方はお申し
込みください。檀家以外の方でも勿
論結構です。

記

期日・・・一月八日、午後一時より
祈禱料・・・三千元

祈禱内容・・・厄難消除（厄よけ）
身体健全、病魔退散、家内安全、
交通安全、商売繁盛、業運繁栄、
学業成就、合格祈願、安産祈願、
子授け祈願、その他

申し込み・・・一月七日まで、電話可
電話 0465-3612755
FAX 0465-3716688

平成八年厄年

男性

- 前厄 昭和三十一年生まれ
- 本厄 昭和三十年生まれ
- 後厄 昭和二十九年生まれ

女性

- 前厄 昭和四十年生まれ
- 本厄 昭和三十九年生まれ
- 後厄 昭和三十八年生まれ

元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉
を開けておきます。

午前0時より一時まで、住職に
より新年の御祈禱が修法されま
すので、ご自由に初詣下さい。
尚、年賀等一切不要ですので念
の為。

昔暮れのいわ参り

古い護摩札やお守りなどは、
暮れのお参りの時に、本堂入り
口に用意された納め場所に納め
て下さい。特に大きなものや、
燃えないものは、寺の者に連絡
してください。